

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 31 年 月 日

計画の名称	3 道路ストックの戦略的な維持管理・更新を図る「健全な石川の道」整備計画（防災・安全）						
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）			交付対象	石川県、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、野々市市、川北町、津幡町、内灘町、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町		
計画の目標							

・県民の命と暮らしを守るため、老朽化する道路ストックを適切に維持管理できるよう、道路施設及び道路付属物の総点検を実施し、必要な対策を戦略的に推進することで、県民生活の安全性、快適性の向上を図る。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 道路ストックの総点検により対策が必要な箇所を割り出し、その対策を戦略的に実施する。 						
----------------	---	--	--	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)							
道路ストック総点検での対策必要箇所の整備率（橋梁＋トンネル＋シェッド） （対策必要箇所の整備率）＝Σ（対策済箇所数）÷Σ（対策必要箇所数）	86 %	92 %	98 %	・（石川中央都市圏ビジョン）に基づき実施される要素事業：金沢市、白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町でのA事業全て						
全体事業費	合計 (A+B+C)	35,538百万円	A	35,513百万円	B	0百万円	C	25百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.1%

中間評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
石川県において評価を実施	事業完了後 公表の方法 石川県ホームページで公開

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・整備の促進により、老朽化した道路ストックの長寿命化が図られた。			
II 定量的指標の達成状況	指標（通学路の安全確保率）	最終目標値	98 %	目標値と実績値に差が出た要因 計画的な事業実施により、目標が達成された。
		最終実績値	98 %	

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）	
--	--

3. 特記事項（今後の方針等）

・計画終了後も、引き続き道路施設及び道路付属物の総点検を実施し、必要な対策を戦略的進めていくこととしている。